

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	理科	科目	生物	学年	第3 学年	類型	Ⅱ型理系選択
単位数	4 単位	教科書	生物（東京書籍）				
補助教材	リードLightノート生物（数研出版）、セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）、生物問題集・実験ノート（愛媛県高教研理科部会）、ニューステージ生物図表（浜島書店）						

学習目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験等を行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	3編 遺伝情報の発現と発生	DNAの構造・複製・タンパク質合成について、詳細なしくみや遺伝子の発現調節について学習する。	中間考査
	5月	1章 遺伝情報とその発現	配偶子形成・受精、初期発生の過程、細胞の分化や形態形成のしくみ、誘導現象について学習する。	
	6月	2章 発生と遺伝子発現	遺伝子を扱ったバイオテクノロジーについて学習する。	
	7月	3章 遺伝子を扱う技術 4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応	ニューロンの構造と神経系の経路を学習する。受容器については、視覚器と聴覚器を、効果器については筋肉を中心に学ぶ。	期末考査
2 学期	8月	2章 動物の行動	動物の行動の生得的な要素と習得的な要素について学習する。	中間考査 期末考査
	9月	3章 植物の環境応答	植物の環境応答にはさまざまな植物ホルモンや光受容体が関与していることを学習する。	
	10月	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集	個体群や生物群集について、それぞれの特徴と生態系内での特定の役割について学習する。	
	11月	2章 生態系の物質生産と物質循環	エネルギーの流れ、炭素循環や窒素循環について学習する。	
	12月	3章 生態系と人間生活	生態系の多様性と人間活動の影響について学習する。	
3 学期	1月			学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	日々の授業において基本的な概念や法則を理解していくことが大切です。図を利用しながら生物や生物現象を理解し、基本的な知識については何度も復習しながら身に付けることが必要です。生物に興味を持ち、日常生活や環境との関連を考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	--

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・実験レポート・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		